

11月20日（月）その98 自由研究などをコピペで提出

私は戦後 11 年目の S31 年生まれなので、1960 年頃（昭和 35 年）からの断片的な記憶が残っている。離島での生活だったから 5～6 才の頃まで電気がないランプの生活も体験した。また灯油コンロやかまど（薪）を使っていたのも覚えている。洗濯機や冷蔵庫もなかったのも、氷を見たこともなかった。

「世の中はなんて便利になったんだろう」と思うことがたくさんある。大きく言えば 1960 年代・高度経済成長期における電化製品や車の普及。1995 年からのパソコンやインターネット、スマホによる「情報革命」であろう。

特に情報通信機器の発達した現代では、「コピー文化」が花盛りである。私たちが高校や大学時代には、授業を休んだりしたときに、「友達のノートを借りて写す」という手作業をしたものだ。しかし今ではノートなど借りる必要はなく、電子媒体で画像としてもらうこともできる。文字や写真や音楽なども電子器具を使えば、簡単にコピーや送受信ができる。

私は昨年から、ある全国的な教育研究団体の主催する「算数・数学の自由研究」の沖縄県の審査員をしている。琉大の先生や元数学の指導主事など 5～6 人でやっていて、ほとんど交通費程度のボランティアである。賞を決めるだけではなく、一人一人の作品にコメントを書いて励ますのがその研究団体のやり方だ。50 人程度の自由研究を読んで、励ましのコメントを入れるが、結構時間がかかる。先週まで家でその作業をやっていた。

「中学生にしては、きちんとまとめられているし、やけにうまいな。」と思って、インターネットを検索してみると、なんとネットに事例が載っていて、それを丸写ししている生徒が 5～6 人いた。自分で考えずに「感想」までもコピペ（コピーして貼り付けること）している生徒もいた。

そう言えば指導主事時代に、ある教員の研究授業の指導案が、丸ごとネットで公開されているもののコピーだったことがあった。

2015 年、東京大学の教養学部において、学期末に提出された課題のレポートのうち約 75 %がインターネット上の文章の丸写しだったとして、大学側が学生に警告をしたことがあったようだ。

最たるものは 2014 年、あの STAP 細胞の小保方春子さんの論文であろう。彼女が主な執筆者である論文がネイチャー誌に掲載され、割烹着姿の「リケジョ（理系女子）の星」として世界中の注目を集めた。しかし追跡実験で STAP 細胞を作ることができず、研究内容のねつ造が発覚し論文は取り消された。彼女の博士論文の取得も不正があったとされ、博士号も取り消された。

新たな電子機器の発明で便利な世の中になった今、コピペをするなどという方が難しいかも知れない。新しいものを作り出すには、過去に開発されているものを調べ尽くすことは必要だが、そこから一步踏み出して「創造」しなければならない。アップルの創業者スティーブ・ジョブスが、「創造とは新しいものを作り出すことだけではなく、今あるものを結びつけて新たな価値をつけることでもある」と言っていた。

コピペばかりではなく、それを踏まえて自分自身の頭で考えて一步「創造」していくべきである。その姿勢は、実社会でもすぐに役立つ。

このことを自由研究で「完全コピペ」をした中学生に教えてやりたい。もちろん、研究論文で四苦八苦している研究員の皆さんにも。（笑）

11月21日（火）その99 つかみとインパクトー校長講話のレシピー

映画やドラマなどで冒頭から視聴者の興味関心を一気に引きつけることを「つかみ」というが、講話やあいさつなどでもそれが必要なのである。

校長の6年間、3つの小中校で毎月1回ずつ計68回の校長講話をやった。

（その86参照）生徒達から「大きな勲章」（感想）をたくさんもらった。

○「校長先生が3月で大里中からいなくなるって話を聞いた時、本当に「どうしよう、校長講話が聞けなくなる・・・。」と、悲しかったです。でも、離任式で、校長先生は残ってくれると知って、本当にとてもうれしかったです。

今年もためになる校長講話をよろしくお願いします。」（大里中3年女子）

○そもそも校長講話なんて今まで聞いたこともないし、体育館に行くとき朝から気分が下がっていました。でも聞き終えておどろきました。こんな校長先生は、今までにあったことがなくて、ちょっとおどろきました。校長先生が話していた「**you can't change the past, but you can change the future.**」（過去は変えられないが、未来は変えられる）。僕はこの言葉を胸に一年間がんばろうと思いました。（東風平中3年男子）

興味がなければあくびや居眠りをして、正直に反応するのが中学生です。校長講話は「15分の勝負」です。最後まで集中させて聞かせることができたのは、「つかみ」がポイントでした。パワーポイントのスライドショーでたくさんの写真を見せるのです。映っているのは彼ら自身です。これだけで食い入るように見てくれます。一枚の写真を画面いっぱいドアップにして見せるのです。シャッターチャンスは「真剣な表情」と「笑顔の表情」です。

それから「話の組み立て」で、生徒達をいい意味で裏切るのです。例えば安室奈美恵の写真をアップで写し、彼女について語り始めるのです。子ども達は校長がアムロの話をするとは、全く予想していません。子ども達に、「えっ?」「なんで?」と思わせると、講話は成功です。飛躍がなく、子ども達の思考レベルで、心にストンと落ちるよう気をつけて表現します。短い話なので無駄は一切省いて、横道にそれないように理路整然と話を組み立てます。するとインパクトのある話になります。題材を次のような視点で選びます。

①子ども達や世の中で関心が高まっているが、まだ新鮮な話題。

例えば、「インスタ映え」、「安室奈美恵の引退」、「流行語大賞の予想」

②みんなが「すごい!」とちらほら考え思っている話題。

例えば、「大谷翔平の大リーグ挑戦」、「村田諒太のリベンジ」

③校長が「感動」した話題（校長が感動したことが大切）。

例えば、テレビ、新聞、本、ネットで読んだこと。身近で聞いたこと。

私は指導主事達に、「20分の指導助言を聞いてもらえるには、最初の5分程度の話が勝負だ。」と話してきました。教員や学校がずっと力を入れて努力してきたことを褒めもしないで（見抜けなくて）、用意してきた文科省等の資料などを読み上げるなんて愚の骨頂です。「早く話を終われ!!」と、みんな心を閉ざして、指導助言など誰も聞いていないのです。

教員の毎日の授業も同じです。授業の最初の10分程度の流れが重要なのです。「導入」部分で子ども達の心をつかまえずに、いつつかむのですか?

「つかみ」と「インパクト」が重要なのです。授業の準備を十分にやると、子ども達の反応を予想してワクワクするような気持ちになるでしょう? 皆さん自身が、早く授業をやりたくてうずうずしてくるでしょう?

11月22日（水）その100 感謝！所長講話の感想

今回 100 回なので、私の方から 7～8 人の方々に「所長講話の感想」を依頼しました。気を利かして本研究所の指導主事が他にも数名の方に依頼したそうです。感想をお寄せくださった皆様、本当にありがとうございました。感謝！感謝！感謝！せっかく書いていただきましたので、長い文も短い文もありますが、「原文どおり」すべて掲載します。7 ページありますが、お読みください。

○学び続けることの大切さは、私自身に向けられている （小学校校長）

大城朗所長の「5 分間所長講話」は読んでいて楽しい。楽しいの言葉の中には、「共感した。感動した、知識が増えた、考えさせられた。」などの意味が含まれています。具体的にいうと、先ず読み手を引きつける魅力のある題名（タイトル）です。「ママのスマホになりたい！」「青い熊と、おい悪魔」「電子のトートナー」「きみの臍臓をたべたい」といった、一瞬「エッ！」と思わせるユニークなタイトル。飾り気のない普段着の文章。心温まる内容。気持ちが引き締まる厳しい文章。所長のおおらかなお人柄と豊かな人間性、高い教養、教育者として教育信念を貫く強さを感じます。

朗先生の講話の中で特に、「いくら回されても針は天極を指す」「私はゴミのポイ捨てをしたことがない！」「赤ちゃんは、なぜかわいいのか」「東京大学入学式での祝辞」は特に印象深く残っていて、家族や職員の話題となりました。また、個人的には「木綿のハンカチーフ」は、高校時代に私をタイムスリップさせ、ほろ苦い思い出を蘇らせていただきました。

校長としてこれまで職員に、学び続けることの大切さを語ってきましたが、「5 分間所長講話」を読ませていただき、この言葉は私自身に向けられた言葉でもある事を感じました。所長として常に自己研鑽に励んでおられるお姿に敬意を表します。これからも読ませてください。

○講話の中にのめり込んで、講話と対話しています （元幼稚園管理職）

毎週ワクワクしながら、所長講話を拝読させていただいております。所長講話 100 回達成、おめでとうございます。退職し家にいながらにして所長講話を拝聴できることに大変ありがたく感謝の気持ちで一杯です。毎回新しい発見で胸がときめいています。所長自身の話題や身近な話題に刺激を受け、とても得した気分です。話題の中にのめり込んでしまい、いつの間にか講話と会話をしています。27 回目の「釈迦の指」は、幼稚園教育に求められている教師の援助はこれだと思い、こども園や幼稚園の先生方に紹介しています。64 回目の「職員の高さを束ねて学校経営」では、「もっと早くこの講話に出会ってればよかった。」と、園経営をやり直したい気持ちに駆られました。大城朗所長の講話は、朝ドラのような魅力があり、早く次の話題に出会いたくパソコンを開いています。最終回がないことを祈っています。

[後、6 ページあります。]

○講話を聞き始めて10年、私も引用させてもらってます！（小学校校長）

毎週とはいきませんが、時々まとめて読ませていただいています。私は、大城朗所長の講話を聞き始めて10年になりますが、その話題の広さ、深さ、示唆に富んだ内容からいろいろなことを学んできました。この度の100回を迎えた所長講話もそうですが、素晴らしいところがたくさんあります。自身が感じた日常の中の何気ないできごとや、今とつながる過去のできごと、流行を敏感に捉えた話題、これからの時代のこと等。そこから大人として教員として大切にしなければならないことを逸話や解説を添えて伝えていくので説得力があり、方向性が見え元気になります。私もこれまでに校長講話や先生方へのメッセージ等に引用させていただいています。ありがとうございます。講話の原稿作成には、準備するために多くの時間とエネルギーを要していると思いますが、ぜひこれからも書き続け、発信して教職員を元気づけてください。楽しみにしております。

○想いを伝えたい強い気持ちに裏打ちされた研鑽（中学校校長）

所長講話100回目、おめでとうございます。いつも楽しく拝読しています。講話内容が多義の分野にわたっており、日頃からの読書をはじめ情報収集力や好奇心（興味関心の広さ）に脱帽です。限られたスペースの中に、ユーモアを交えながらも伝えたいメッセージをきちんと読者に伝えると同時に感動を与える文章力、説得力は所長の才能でもあるでしょうが、想いを伝えたいという強い気持ちに裏打ちされたこれまでの研鑽の賜だと強く感じます。偉そうにすみません。私の校長講話でもたびたび所長の講話内容を引用（パクリ）させていただいています。また本校職員にも紹介しています。これからも行政組合職員をはじめ我々教職員にやる気や元気がもらえる、感動する所長講話をよろしく願いいたします。（プレッシャー？）1000回目指して、ちばってください！応援しています。

○多種多様な話で、いつも感心しています。（小学校校長）

多種多様な話でいつも感心しています。あまり難しくない肩の凝らない話が多いので、気楽に読んでいます。短期間に100回突破ということで、ビックリしています。話の内容といい、朗所長の豊富な読書量が成し遂げていると思います。今後とも私たちにためになるお話、おもしろい話等よろしく願います。

○私も「The next one」の精神で頑張りたい（他地区行政職）

大城所長の講話の魅力は、書き尽くせないほどありますが、3点に絞って書かせてもらいます。①タイムリーでユーモアとたまに知性が光り、中高年の悲哀と昭和を感じさせる話題は、大人心をくすぐります。またテレビや新聞で報道されたこと以上の詳しい情報や数値データなど「新たな一滴」が加わり、お徳感があります。②さまざまな分野の人物や色々なジャンルの本を紹介してくださるので、生き方や考え方の参考になります。またその人物について詳しく調べたり、気になる本を購入して読んだり、その後の主体的、対話的で深い学びにつながります。③故郷や家族、郷土沖縄の歴史や文化を大切に作る心や、沖縄で生きていく人材を育てていくことの重要性をいつも

感じさせられます。沖縄の教員として、心に留めておくべきことだと思えます。

何より大城所長が楽しみながらなさっていること、そして聞く人に喜んでもらえるような準備や仕掛けを常に考えていることは、日頃の教育実践にも共通すると感じています。私も「The next one」の精神で頑張りたいです。いつもありがとうございます。

○たまーに自慢話もあるけど…愛される理由は… (中学校教頭)

私は義務教育課長講話も拝聴しました。①まずなんと言っても要点がしっかりとまとめられていており、ストーンと心に落ちる。②時間と行数が決められていて、ダラダラしていない。③誰にでも参考になる話になっていて、自分なりにこうしてこうと考えさせられる。④ユーモアがあり、たまに秘情報が盛りこまれていてドキドキさせられる。⑤その時々タイムリーな話や季節、行事、話題性などテーマの多様性に驚かされる。⑥たまーに自慢話もあるが、本人自身が楽しんで書いているので、読む方も楽しくなる。⑦やはり職員のやる気(火をつける)を高める話が、愛される理由でしょう。時間がないのでこれくらいにしておきますが、まだまだたくさんあります。それでは修学旅行に行ってきます。

○読後の興奮が冷めやらずに… (他地区)

先日は「5分間講話」の最新版を頂戴し、誠にありがとうございます。義務教育課で拝聴した課長の講話に励まされ、頑張れたことを思い出しました。今回の内容も多岐に渡り、先生の見識の広さ、懐の深さ、きめ細かな取材に感銘を受けました。いつもお心にかけて下さり、感謝の限りです。読後の興奮が頭から離れずにペンを取りました。ありがとうございました。

○「きびだんご」の話が最も心に残っている (中学校教諭)

一度読み始めるとやめられません。豊富な知識、ロジカルな文体、深い洞察力に感動するばかりです。しかもクスッと笑えるひと言が加えられているところが、またステキ♡多くの学びと共に、所長の人となり伝わってきて、温かい気持ちになります。私個人としては、「きびだんご」のお話が最も心に残っています。これからも一読者として、所長講話を楽しみにさせていただきます！ありがとうございます。

思い出します。当時所長は東風平中の校長で、「サンタクロースってホントにいるの？」という題の校長講話をなさっていて、その講話を私は聞くことができました。あの時の感動を思い出して、かみしめていました。あれから5年、早いですね。その後校長講話を聞く機会には、残念ながら恵まれませんでした。今所長講話という形で気軽に読ませただけのことに、感謝しています。ホントは生の声を聞きたいですけどね……。

[後、4ページあります。]

○研究所を離れてもホームページで読めるから幸せ（小学校教諭）

毎回すてきな所長講話をありがとうございます。所長講話の魅力は、その内容がタイムリーであること、そこから一人の人間として教員として考えさせられることがあることです。また情報や講話の文脈に深みがあることも、また読みたいと思わされます。研究所を離れてもホームページで見ることができ幸せです。これからも期待しています。

○所長講話を読むと、心の栄養になります。（幼稚園教諭）

所長講話を読ませていただいています。とにかく読んで心の栄養になります。一番の魅力は、内容が色々な分野に広がっているところです。自分の興味にぴったり合う内容には、釘付けになります。また普段は考えたこともない事柄について分かりやすく書かれていて、新しく興味をもったりすることもできて、私の心を耕してくれています。有難うございます。これからも楽しみに読ませていただきます。

○タイムリーな話題、時間内の講話、勉強になる（中学校教諭）

タイムリーな話（最近の話題である）。時間内にスムーズに話が流れている。大城朗所長が楽しそうに話されるので聞く方も楽しい。いろいろな分野の内容なので、とても勉強になる。

○今日も朝から所長講話を読んで、出勤（小学校教諭）

所長講話 100 回、おめでとうございます。島尻教育研究所を退所して、早 1 か月が過ぎました。やはり寂しさを感じるのは朗所長の講話を直接聞くことができないことです（涙・・・）。所長講話は一つ一つに魂がこもっており、深く考えさせられたり、笑いがこぼれたり一つの講話の中で、いろいろな感情が自然にあふれてきます。短い 5 分～ 10 分の講話で、2 時間ほどの映画を見たような気持ちになることがありました。朗所長の聞く人を意識した話し方は、本当に魅力的でいつも引きつけられました。今ではホームページで所長講話を読むのが私の「読書」になっています。どの講話も朗所長の話し方や表情が浮かび、何遍も文面を読み返したり途中で止まって考えたりと本当に時間を忘れて夢中になります。学校現場に戻り久しぶりに子ども達の前に立つと、一人一人の子ども達の目の輝きにいつも元気づけられます。子ども達の前で話す時は、いつも朗所長が講話で教えていただいたように、相手を意識した話し方や教師としてのあるべき姿を意識しています。教師としての信念を所長講話を通して本当に多くを学ぶことができました。

なんといっても講話を一つ作りあげるのに多くの時間を使い、メッセージのある言葉一つ一つがいろいろなことを考えて作られていることは、本当に驚きです。今日も朝から所長講話（その 97）を読んで、出勤です。渡嘉敷島は私が 20 才の頃に初めて補充をした場所でもあり、初心に戻り今日も一日頑張ります。

[後、3 ページあります。]

○「にいぶいすることなく、マジすごい！」「だあるよね～」（中学校教諭）

東風平中で初めて校長講話を聞いたとき、前々から噂は聞いていましたが、「噂どおりで、マジ、スゴイ！」と、生徒と一緒に驚きました。テンポよく話すスピード、内容もわかりやすく、目の前の写真がどんどん変わるので、「にいぶい」することなく、あっという間の講話でした。生徒が「今度の校長先生の話は違っている！おもしろい！」と言っているそばで私も「だあるよね～」と、共感しました。

あの時以来、ナマで先生の講話を聞くことがなくなり、先生のこと少し忘れかけていた頃（すみません）、「所長講話」がスタートし、また先生の話に触れることができ、刺激を受けています。私はほとんど読書をするのがないので、（ダメですね）先生の講話から、「なるほど～」といろいろ学ばせてもらっています。まずは何よりも文章がわかりやすく読みやすいですし、すぐに読めるというところがナイスです。また「例え」がおもしろいです。「金太郎型」「桃太郎型」の教員、「おせち料理」「普段の食事」的な授業など、センスがあります。ドラマ、映画、歌などから話題を引っ張り、今時の話題で興味を引くところも「うまいなあ～」と思います。私が生まれる前のちょっと古い昔のことなども話題にしているところからは、歴史を感じ、「へえー、そうなんだあ～」と感動したりもしています。先生ぐらいになると、「お堅いイメージで話す内容も難しいだろうな」と、思っていたのですが、それが全く違いました。これからどんな話が聞けるのか、楽しみにしています。本当は写真付きのナマの講話を聞きたいのですが……なかなかその機会がなく、残念です。

○妥協しない精神力、追究心、笑顔で精進します（小学校教諭）

所長講話 100 回おめでとうございます。現場に復帰し早 2 か月が経とうとしています。前期研修期間が懐かしく感じられます。所長講話は、毎週金曜日に拝見させて頂いています。所長の笑顔と、会議室が笑いと笑顔にあふれている雰囲気想像しながら拝見しています。所長講話は私たちに励ましてくれる栄養剤です。講話から、今何をすべきか、どういう心持ちで今後頑張っていくのか等、タイムリーに励ましてくれるバイブルのようなものです。また講話から、所長のどこまでも追及する気持ちや妥協しない精神力、どんなときでも笑顔でいることの大切さも教えてくださいました。改めて感謝申し上げます。現場でも妥協しない精神力、追究心、笑顔で精進していきます。

○今週も頑張ろうとやる気にさせる！（中学校教諭）

所長講話は、毎回いろいろなジャンルで、また新しい記事を紹介しているので、とても楽しいです。一瞬難しそうに見えるのですが、読んでみるとつい引き込まれ、過去の記事も読んでいます。タイトル一覧（目次）があることで、今自分が気になる所を読むことができます。今週も頑張ろうというやる気にさせる記事が多いです。以前教務主任研修で読ませていただいたり、ある校長先生から朗所長の話聞いていたので、何度か読ませていただきました。今回、朗先生と関わりが持てると、心ではそう思いながら書かせてもらっています。毎週 3 回の発行ありがとうございます。外部にいても読めるように、ネットで配信してくれることも嬉しいです。100 回記念号を楽しみにしています。

○英語版を出すなら相談に乗りますが…（行政職）

記念すべき 100 回目の所長講話、おめでとうございます！

大城所長の御講話は、校長講話を始められた当初から拝聴しています。

毎回教育関連はもちろん、政治、歴史、文学、芸能、スポーツ、映画、TV 番組、YouTube そして実家のトートナーや定年退職後の生活などなど、豊富なジャンルから話題があり、老若男女楽しめる内容だと思います。また登場人物も、歴史的偉人、会社の経営者、政治家、小説家、芸能人、時には知人、友人、そしてユタまで出てきて、時々「クスッ」と笑いが出てしまいます。同時に、必ずメッセージや教えが講話の中に散りばめられているので、楽しい学びとなっています。所長講話の基本コンセプトである①学び続けること、②プラス思考、③自己開示 があってこそその 100% オリジナル講話だと思います。

これらの講話をブログで発信したら世界中の人々と共有できるかもしれません。そのためには英語版が絶対不可欠です。私が定年退職するまでお待ち頂けましたら英語翻訳いたします！翻訳料は御相談の上で…。

○たくさんのメッセージを受け取った。私も頑張る（行政職）

所長講話 100 回達成おめでとうございます。講話ファンとしては、まだまだ伸びることを期待しております。所長講話から私が毎回感じることは「管理職の心意気」です。心意気とは、「物事に積極的に取り組もうとする心構え、意気込み、気概」のことですが、他にも「真実な気持ち、こころね」との意味もあります。所長自身が講話の中で「文章を書くのは楽ではない。・・・自分を追い込んで、甘えの退路を断っている」と書かれています。それを乗り越えてあえてチャレンジすることによって、私たちに「管理職としての心意気」を示しているように感じます。そしてそこには所長の真摯な気持ちも感じます。

もちろん時事問題からの問題提起や心温まるお話など、ユーモアを交えながらの講話の中味も、毎回楽しみに勉強させていただいています。

以前先輩の先生から、「管理職はあいさつで勝負する」との言葉を頂いたことがあります。大城所長の講話がまさにそれで、内容だけでなく、作りあげるまでの姿勢や努力は、読み手の心を打つ以上に、管理職としての姿勢、心意気を伝えるものだと感じます。所長講話からたくさんのメッセージを受け取りました。私も頑張ります。ありがとうございます。

[後、1 ページあります。]

○クスッと笑ってしまう一言など、夢中で読んでいます。(小学校教諭)

クスッと笑ってしまう一言が添えられていて、おもしろいです。「後ろ髪が薄くなってしまったが、まだまだ引かれるくらいはある(笑)」に笑ってしまいました。遠距離恋愛の話やスロット趣味の話など、自己開示しているところに親しみを感じます。放送中のドラマや話題の芸人の話、スポーツ、琉球の歴史、方言など色々な分野からの話題があり、夢中で読んでいます。

○私の講話のヘルプデスク、癒やし、栄養剤 (他地区行政職)

大城所長、所長講話 100 回達成おめでとうございます。大城所長の講話を、本当に毎回楽しみに読ませてもらっています。義務教育課長のときの課長講話に出会い、あれから 4 年、大城講話にはまっています。

常に、楽しく読み応えのある内容になっていて、約 1500 字のなかにエキスがギュッと凝縮されています。教育情報あり、歴史・文化・自然の話あり、話が宇宙に飛んだかと思うと、芸能界の話題になり、昔の話から未来の話となり、ついには、若き日の楽しい(つらい)思い出まで、その幅広さ、奥深さに感動しています。みんなが、興味を持つ話や、身近な話、難しい話題もわかりやすく説明していることが、みんなに親しまれている理由だと思います。きっと実際に聞いている研究所の皆さんは、所長の話術にも心を奪われていることだと思います。

私にとって所長講話は、自分が行う「あいさつ」の参考になるヘルプデスクでもあり、心をいやしてくれるもの、元気になる栄養剤かな。

所長、めざせ 200 回です。これからも楽しみ読ませていただきます。閲覧数がさらに増えることを祈って簡単ですが感想といたします。最後に、とても感謝しています。

○学び方や考え方の示唆を与えてくれる (行政職)

毎回楽しく読んでいます。校長時代から課長時代の「脚下照顧」、そして所長講話と、全ては読むことはできないのですが、私たち教職に携わるものへの学びや考え方の示唆を与えてくれています。最近はユーモラスさが際立つものもありますが、朗先生の生き方、沖縄の歴史や文化に触れる内容のものからは、「ウチナーンチュとしての誇り」、「ふるさと意識」を子ども達に伝えていくべきことの大切さを痛感しています。所長講話は今後も自分にとっては仕事のみではなく、生き方の糧となることでしょう。今後も楽しみにしています。

※以上です、多くの皆様ありがとうございました。